

科目名	慢性看護学Ⅴ演習 Seminar on Chronic Care Nursing Ⅴ
授業形態	演習
標準履修年次	2年次
実施学期・曜時限等	秋ABC学期 応談
実施場所	共同利用棟B204
単位数	2単位
担当教員名	柴山大賀 Shibayama Taiga 日高紀久江 Hidaka Kikue 阿部吉樹 Abe Yoshiki
ティーチングフェロー(TF)・ ティーチングアシスタント(TA)	なし
オフィスアワー等	オフィスアワーは特に定めませんが、下記に連絡・調整したうえで訪問すること taiga@md.tsukuba.ac.jp
授業の到達目標 (学習成果)	(1) 入院、外来、在宅医療でのフィールドワークを通して、患者と家族が抱える慢性病に特有な複雑で重複した問題と背景を理解することができる。 (2) フィールドワークの結果の分析と文献検討に基づき、明らかにした看護上の問題を解決するための調整方針について考えることができる。 (3) 慢性病者やその家族の臨床問題とその調整方針について、自らの考えを説明することができる。 (4) 教員、慢性看護の専門家、学生同士でのディスカッションを通して、慢性病者とその家族の生活を支える支援について考察を深めることができる。 (5) ディスカッションの結果を踏まえ、つぎめのない保健医療福祉サービスを提供するために、専門看護師として担うべき調整方針について、事例の分析を通して自らの考えを述べるができる。
他の授業科目との関連	慢性疾患看護専門看護師養成課程のすべての科目
履修条件	将来的に慢性疾患看護専門看護師の資格を取ることを強く望む者 上記の希望について事前の面接により確認する
授業概要	慢性病者の治療環境や地域社会での療養生活の質を高めるために必要な調整の方策の実践について学ぶ。
キーワード	慢性病、治療環境、質
授業計画	(応談3コマ) 病棟における治療環境の調整の実践: 退院調整(フィールドワーク)(柴山) (応談1コマ) 文献を基にしたフィールドワーク後の考察と展望(柴山) (応談3コマ) 外来における治療環境の調整の実践: 看護専門外来(フィールドワーク)(柴山) (応談1コマ) 文献を基にしたフィールドワーク後の考察と展望(柴山) (応談3コマ) 地域における治療環境の調整: 難病支援センター(フィールドワーク)(柴山) (応談1コマ) 文献を基にしたフィールドワーク後の考察と展望(阿部) (応談3コマ) 居宅における治療環境の調整の実践: 訪問看護ステーション(フィールドワーク)(柴山) (応談1コマ) 文献を基にしたフィールドワーク後の考察と展望(日高) (応談3コマ) 職場における治療環境の調整の実践: 健診センター(フィールドワーク)(山海) (応談1コマ) 文献を基にしたフィールドワーク後の考察と展望(阿部)
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	事前に与えられた課題を準備して行くこと。
成績評価方法	5分の4以上の出席を単位取得の要件とし、最終評価が満点の60%以上をもって単位を認定する。 <評価方法と評価配分> フィールドワーク後の考察と展望に関するプレゼンテーションに基づく口頭試問 100% <評価基準> 各回のプレゼン内容を以下の要領で3点満点で評価し、10回分の合算(30点満点)に基づいて最終評価とする。 3=フィールドワークの経験と十分な根拠資料に基づいた説明がなされ、論理的な一貫性と十分な説得力がある。 2=フィールドワークの経験と一定の根拠資料に基づいた説明がなされ、一定の説得力がある。 1=フィールドワークの経験の説明や根拠資料の提示に不足があり説得力を欠いているが、理解可能である。 0=フィールドワークの経験の説明や根拠資料の提示が不十分で著しく説得力を欠いている。あるいは欠席した場
教材・参考文献・配布資料等	必要時、担当教員から提示する。
その他(受講生にのぞむことや 受講上の注意点等)	遅刻、途中退出、やむを得ず欠席する場合の扱いについては、受講生の状況を鑑みて決定する。 フィールドの事情により、開講時期に演習を行えない際には日程を変更することがある。